～きみの世界をおもしろく～

PAka Paka 設立総会資料

式次第

開会あいさつ及び定足数の確認

代表あいさつ

議長選出

第１号議案　[事業報告](#_Toc373834216) １

[会計報告](#_Toc373834217)

[監事による監査報告](#_Toc373834216)

第２号議案　[事業計画（案）](#_Toc373834216) ４

[収支予算（案）](#_Toc373834217)

第３号議案　[会則変更（案）](#_Toc373834217) ７

第４号議案　[役員改選（案）](#_Toc373834217) ８

閉会あいさつ

第2部　　Ｐａｋａ　Ｐａｋａのこれから（座談会）

[会社情報](#_Toc373834217)

第１号議案、事業報告

個別療育

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　幼児期から小学生までの発達障がい児を対象にABAを中心とする　　　　　　　　　　　　　　　する個別療育を行う。

**４３９，５００円**

事業収入

**３００，７５０円**

事業支出

　法人格がなければ、公的サービス（児童発達支援及び放課後等デイサービス）に移行できなかったため、特定非営利活動法人　チャレンジドの法人枠を使い活動を行う。実費では、負担が多かったが公的サービスの自己負担と家庭への負担が軽減したと考えられる。個別療育を受ける会員も10名弱から24人に拡大。発達障がい児の療育は個々への対応が主となり、集団へと移行できる。今後も主の事業として位置付ける。

* 主なトピック

県内唯一のABAを主とした個別療育を行う事業所（公的サービスで）として展開

* 平成25年5月から武豊町にて事業所「Paka　Paka」を開所。民間では、ABAを行う会社が各地で行っているが、ほとんどが都市部で事業展開を行い、金額も中流家庭以上を対象としており高額になっている。我が子に効果のある個別療育を受けさせたいという意識のある家庭が受けられるように、公的サービスに組み込む。

利用者が増加

科学的に根拠のある療育方法を採用

* ABAのみならず、科学的に根拠があり有益と思われる療育方法を採用。J★Skep（発達障がい児の学びを促進する７つのキーポイント）を学びに「たすく」等の専門機関に研修に参加し個別療育に随時対応させる。
* 日進月歩する発達障がいの最新の療育を学び・実践することにより質を高める。
* 利用者は以前から利用していた10名弱から24人（平成25年11月）に増加。利用者の居住地域も知多圏域を対象にしているために、5市３町（東海市、大府市、知多市、常滑市、半田市、武豊町、阿久比町、美浜町）に広がる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　保護者や地域の支援者、学生を対象に療育や制度に関する

　　　　　　　　　　　　　　　　　学ぶ場を提供

事業収入

**２５，４００円**

事業支出

**０円**

　発達障がい児の世界をよりよくするには、他機関、他支援者等がネット―ワークを組み互いに切磋琢磨することが必要。ゆるやかな連携を創るために、Paka　Pakaゼミを支援者・学生を対象に行う。

　また、Paka　Pakaが重要視する家庭療育を促進するために、セッションでは伝えきれない座学やワークを活用した保護者対象の学習会を行った。

* 主なトピック

武豊町協働提案型事業に採択

* 平成25年度から始まった民間と武豊町との協働事業にてPaka　Pakaが提案する「ゆめたろう子育て応援講座」が採択を受ける。10月～11月に計４回の連続講座を開催。発達障がいを持つ子の子育てのコツを座学やワークにて学ぶ。

日本福祉大学との連携

Paka　Paka　ゼミ

* 地域の支援者向けにPaka　Pakaゼミと題して平成２５年６月１３日と１２月１０日に学習会を行う。初回は少なかったが徐々に、輪が広がっている。
* 日本福祉大学が地域との連携拠点として設けた「Cラボ」を民間として初活用。Paka　Pakaゼミの学生対象として心理士・特別支援学校教員を目指す学生に「強化」を中心とした実践向けの題材での学習会を行う。

家族支援

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　発達障がいの子どもの療育に携わっている母親の息抜き、安心できる場作り。また、子どもとその家族の余暇活動の充実のためのイベント等をさらに充実させ、その活動が子どもたちとその家族の将来へ繋がるものにしていく。

事業収入

**１５００００円**

事業支出

**７００００円**

発達障がいの子どもの療育に携わっている母親の息抜き、安心できる場作り。

また、子どもとその家族の余暇活動の充実のためのイベント、教室の開催。

母親支援をさらに充実させ、母親の活躍の場作りを行い、母親、家族のモチベーションを高め、

子どもたちとその家族の将来へ繋がる活動の場を作っていく。

* 主なトピック

母親対象座談会

* 月2～3回の座談会を行う。内容としては、生活や療育に密着した内容をテーマとした座談会や、息抜きの場としてのテイクアウトランチ会やモーニング座談会の開催。
* 母親の余暇活動充実のため、母親対象の教室(アロマクラフトや洋裁)の開催。
* 母親の活躍の場作りとして、座談会と合わせて、フリーマーケットを開催する。

Paka Pakaママのフリーマーケットの開催

mama

　　家族支援を目的としたイベント

* Paka Pakaのパン教室
* きょうだい児のためのベビーマッサージ教室

パン教室は人気の企画。武豊町だけでなく、阿久比、東浦、東海市、半田、大府などからの参加者も多数いる。きょうだい児対象の教室は、対象年齢を就学前までとし、家でスキンシップを無理なく取り入れていくためには、、をテーマに行っている。

* 企画・運営を母親中心で行い、収益はPaka Pakaの運営費とする。
* フリーマーケッ開催の目的を、母親の活動の場作り、将来のための資金作り、療育中の子どもたちの好きな物探しの場作り、発達障がい支援の啓発活動の４点として、活動していく。

第2号議案、事業計画

個別・

集団療育

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　幼児期から小学生までの発達障がい児を対象にABAを中心とする　　　　　　　　　　　　　　　する個別療育を行う。また、小学生を対象に、余暇スキルを　　　　　　　　　　　　　　　中心とシ　　　　　　　　　　　　　中心とした集団療育を行う。

**３００，０００円**

事業収入

**０円**

事業支出

　昨年度に引き続き、ABAを中心とした個別療育を行う。より多くの人に行き届くように、スタッフ養成に力を入れ、人的スタッフを確保する。また、小規模（4～5人）で余暇スキルに着目した集団療育を行う。

* 主なトピック

集団療育の開始

* 個別で行うことを、集団へと汎化（スキルを応用させること）する意味でも、また集団でしか培えないスキル（社会性等）を見につかせるために週2の集団療育を行う。
* 障がいのない子であれば、習い事や友達と遊ぶといった活動があるが障がいのある子は、その場が少ない。それを補てんさせるために、余暇スキルに着目した集団の場を提供する。

スタッフの確保・育成

療育の質の向上

* 先進的な実践を行う専門機関の臨床現場を定期的に見学させてもらい、その現場で行う臨床のコツをPaka　Pakaでも応用させる。
* 個別療育を行えるスタッフ養成に力を入れる。各スタッフの強みと弱みを把握しながら、療育者として「将来どのような療育者になりたいか」を模索させながら、各スタッフに応じたマネジメントを行う。

学習会

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　保護者や地域の支援者、学生を対象に療育や制度に関する

　　　　　　　　　　　　　　　　　学ぶ場を提供

事業収入

**３０，０００円**

事業支出

**５，０００円**

　発達障がい児の世界をよりよくするには、他機関、他支援者等がネット―ワークを組み互いに切磋琢磨することが必要。ゆるやかな連携を創るために、Paka　Pakaゼミを支援者・学生を対象に行う。

　また、Paka　Pakaが重要視する家庭療育を促進するために、セッションでは伝えきれない座学やワークを活用した保護者対象の学習会を行った。

* 主なトピック

ペアレント・トレーニング

* 発達障がいのある子の子育てのコツを、保護者を対象に、座学やグループワークを通じて伝える『ペアレント・トレーニング』を行う。武豊町の協働事業である『ゆめたろう子育て講座』の業績を元に、行政と学校関係と連携を取りながらこの地域にあった学習体制を築く。

日本福祉大学との連携

Paka　Paka　ゼミ

* 地域の支援者向けに『Paka　Pakaゼミ』と題して臨床の基礎から専門的なロールプレイングを行う。横の繋がりから得られる連携と、支援技術のノウハウ、またPaka　Pakaに関わりたいという人材を募る。
* 日本福祉大学が地域との連携拠点として設けた「Cラボ」を積極的に活用。定期的に「Cラボ」で学習会を行うことにより、学生の確保を行う。

家族支援

　　　　　　　　　　　　　　　　　■主要な事業内容

　　　　　　　　　　　　　　　　　　発達障がいの子どもの療育に携わっている母親の息抜き、安心できる場作り。また、子どもとその家族の余暇活動の充実のためのイベント等をさらに充実させ、その活動が子どもたちとその家族の将来へ繋がるものにしていく。

事業収入

**１５０，０００円**

事業支出

**７０，０００円**

　発達障がいの子どもの療育に携わっている母親の息抜き、安心できる場作り。

また、子どもとその家族の余暇活動の充実のためのイベント、教室の開催。

母親支援をさらに充実させ、母親の活躍の場作りを行い、母親、家族のモチベーションを高め、

子どもたちとその家族の将来へ繋がる活動の場を作っていく

* 主なトピック

母親対象座談会

* 月2～3回の座談会を行う。内容としては、生活や療育に密着した内容をテーマとした座談会や、息抜きの場としてのテイクアウトランチ会やモーニング座談会の開催。
* 母親の余暇活動の充実のため、母親対象の教室教室(アロマトクラフトや洋裁など)の開催。
* 母親の活躍の場作りとして、座談会と併せて、フリーマーケットを開催する。

Paka Pakaママのフリーマーケットの開催

家族支援を目的としたイベントの開催

* Paka Paka　パン教室の開催(パン作り研究会と協働)
* Paka Pakaの造形教室の開催
* きょうだい児のためのベビーマッサージ教室の開催。

パン教室、造形教室を開催し、家族と子どもの安心できる居場所作りを目指す。きょうだい児対象の教室は、就学前のきょうだい児を対象に、「家で自然に取り入れられるマッサージ」をテーマに行う。

* 企画、運営を母親中心で行い、収益はPaka Pakaの活動費とする。
* フリーマーケット開催の目的を、母親の活躍の場作り、子どもたちの安心できる場作り、将来のための資金作り、

療育中の子どもたちの好きな物探しの場作り、発達障がい支援の啓発活動の4点とし、活動していく。

# 第3号議案、会則変更（案）

会則の変更について

当団体の理念は、「発達障がいのある子の世界をおもしろく」と挙げているが、まだ診断の告知を受けていない発達障がい児が目にすることがあるために「発達障がい」という部分を変更したい。

|  |  |
| --- | --- |
| 現行 | 改正 |
| （理念及び目的）  第３条　本会の理念は、「発達障がいのある子の世界をおもしろく」とし、療育支援を通じて、発達障がいのある子の世界をおもしろくする。 | （理念及び目的）  第３条　本会の理念は、「きみの世界をおもしろく」とし、療育支援を通じて、発達障がいのある子や家族・支援者の世界をおもしろくする。 |

役員の変更

　当団体の事業発展のため役員の種類と増員が可能なように変更したい。また、新設する理事の職務と選任も合わせて変更を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 現行 | 改正 |
| （役員）  第9条　本会の次の各号に掲げる役員を置く。  　代表　1名  　副代表　1名  　会計　1名  　監事　1名  （役員の職務）  第10条　代表は、会務を総理し、その業務を統括する。  　２　副代表は、代表を補佐し、代表が不在の時は、その職務を代行する。  　３　会計は、本会の事務を総括する。  　４　監事は、本会の業務及び財産の状況を監査する。  （役員の選任）  第11条　代表の選任は、会員から立候補及び推薦された者の中から総会において選出する。  　２　副代表は、代表が指名する。  　３　会計は、代表が指名する。 | （役員）  第9条　本会の次の各号に掲げる役員を置く。  　代表　1名  　副代表　1名  理事　3名以上  　会計　1名以上  　監事　1名  （役員の職務）  第10条　代表は、会務を総理し、その業務を統括する。  　２　副代表は、代表を補佐し、代表が不在の時は、その職務を代行する。  　３　会計は、本会の事務を総括する。  　４　理事は、役員会を構成し、この会則の定め及び役員会の議決に基づき、本会の業務を遂行する。  　5　監事は、本会の業務及び財産の状況を監査する。  （役員の選任）  第11条　代表の選任は、会員から立候補及び推薦された者の中から総会において選出する。  　２　副代表は、代表が指名する。  　３　理事・会計・監事は、代表が指名する。 |

第4号議案、役員改選（案）

会則が、「第11条　代表の選任は、会員から立候補及び推薦された者の中から総会において選出する。２　副代表は、代表が指名する。３　理事・会計・監事は、代表が指名する。」となっており、それに沿って役員の改選を行う。

代表：

副代表：土肥　りさ

理事：川口　和永

理事：田中　愛

理事：江ノ上　愛

会計：小寺　由香

会計：桑代　理夏

監事：倉知　楯城

会社情報

Paka　Paka

〒470-2385　愛知県知多郡武豊町北中根1丁目13-3

電話 0569-77-0492

Fax 0569-77-0492

ＨＰ：http://paka-paka.net/